

大館市教育委員会会議録

日 時 令和6年1月26日(金)

午後3時30分

場 所 大館市立長木公民館

第1, 2研修室

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時 及び場所	日 時 場 所	令和6年1月26日(金) 大館市立長木公民館	午後3時30分 第1, 2研修室
2	出席委員の氏名			
	教育長職務代理者	山 田 和 人	委 員	工 藤 啓 子
	委 員	根 田 穂美子	委 員	小笠原 正 卓
3	欠席委員の氏名			
4	委員以外の 出席者職氏名	(なし)		
5	出席した職員の職氏名			
	教 育 長	高 橋 善 之	教育総務課長補佐	宮 崎 史 人
	教 育 次 長	成 田 浩 司	学校教育課長補佐	工 藤 貴 胤
	教 育 監	長 岐 公 二	学校教育課長補佐	北 林 香 子
	教育総務課長	小松原 功 秀	教育研究所副主幹	山 本 多鶴子
	学校教育課長	鈴 木 明	生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則
	教育研究所長	米 澤 貴 子	中央公民館長	外 館 志
	生涯学習課長	糸 屋 みさえ	歴史文化課長補佐	篠 村 朋 子
	歴史文化課長	小 松 工	教育総務課総務係長	柳 谷 真 希
	歴史文化課主幹	関 智 仁		
6	会議録署名委員	教育長・山田委員		
7	会 議 書 記	教育総務課 総務係長 柳谷 真希		
8	教育長報告			
(1)	令和5年度ふるさとキャリア教育作品コンクール審査結果について			
(2)	未来おおだてサミット事業について(交流推進課事業)			
(3)	子どもサミット代表会議について			
(4)	南種子町児童交流事業について			
(5)	第35回大館市教職員研究実践発表会について			
(6)	障がい者の生涯学習事業について			
(7)	大館市伝統文化親子教室事業(地域展開型)について			
(8)	共生センターとっと工房アート展について			
9	議 事			
	議案第1号	専決処分の承認について		
	協議第1号	大館市放課後児童仲良しクラブの運営規程の制定について		
	協議第2号	大館市民文化会館に関する条例の一部改正について		
	協議第3号	大館市松下村塾に関する条例の一部改正について		
	協議第4号	大館市放課後児童クラブに関する条例の一部改正について		
	協議第5号	大館市北地区コミュニティセンターに関する条例の一部改正について		
	協議第6号	大館市公民館使用条例の一部改正について		
	協議第7号	大館市立鳥潟会館に関する条例の一部改正について		
	協議第8号	大館市民舞伝習館に関する条例の一部改正について		
	協議第9号	令和5年度 3月補正 歳出予算要求の概要について		
10	その他			
	次回 2月22日(木) 中央公民館 第1, 第2研修室			

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年1月26日

担当課（学校教育課）

報告事項	報告内容																																																				
<p>(1) 令和5年度ふるさとキャリア教育作品コンクール審査結果について</p>	<p>1. 審査期日 12月14日(木) 14時15分～ 田代総合支所大会議室</p> <p>2. 審査の視点 (1) 子どもが調べたこと、体験したことを自分の言葉や動作、絵などで表現しているか。 (2) 学習・活動を振り返って、子ども自身が成長を実感しているか。</p> <p>3. 審査結果</p> <p>(1) 最優秀賞</p> <table border="1" data-bbox="544 913 1426 1205"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>学校名</th> <th>学年</th> <th>作品の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小・低学年</td> <td>西館小</td> <td>3年(2人)</td> <td>大館すごいぞ!壁新聞</td> </tr> <tr> <td>小・高学年</td> <td>城南小</td> <td>5年(64人)</td> <td>大館の食リーフレット</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>成章中</td> <td>全校(42人)</td> <td>地域の防災マップ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 特別賞</p> <table border="1" data-bbox="544 1256 1426 1451"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>学校名</th> <th>学年</th> <th>作品の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商工会頭賞</td> <td>第一中</td> <td>1年(1人)</td> <td>職場体験レポート</td> </tr> <tr> <td>教育長賞</td> <td>有浦小</td> <td>6年(32人)</td> <td>大館新駅舎応援資料</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 優秀賞(概要)</p> <table border="1" data-bbox="544 1503 1082 1753"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>学校数</th> <th>児童生徒数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小・低学年</td> <td>1校</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>小・高学年</td> <td>11校</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>5校</td> <td>49人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 優良賞(概要)</p> <table border="1" data-bbox="1098 1503 1426 1753"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>学校数</th> <th>児童生徒数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小・低学年</td> <td>4校</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>小・高学年</td> <td>5校</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>5校</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">参加総数 45作品 466人</p> <p>1 表彰式 (1) 期日 2月1日(木) 16時15分～ 中央公民館 (2) 表彰対象 審査結果に基づき、(1)(2)の受賞作品を表彰対象とする</p>	部門	学校名	学年	作品の概要	小・低学年	西館小	3年(2人)	大館すごいぞ!壁新聞	小・高学年	城南小	5年(64人)	大館の食リーフレット	中学校	成章中	全校(42人)	地域の防災マップ	部門	学校名	学年	作品の概要	商工会頭賞	第一中	1年(1人)	職場体験レポート	教育長賞	有浦小	6年(32人)	大館新駅舎応援資料	部門	学校数	児童生徒数	小・低学年	1校	4人	小・高学年	11校	157人	中学校	5校	49人	部門	学校数	児童生徒数	小・低学年	4校	41人	小・高学年	5校	53人	中学校	5校	21人
部門	学校名	学年	作品の概要																																																		
小・低学年	西館小	3年(2人)	大館すごいぞ!壁新聞																																																		
小・高学年	城南小	5年(64人)	大館の食リーフレット																																																		
中学校	成章中	全校(42人)	地域の防災マップ																																																		
部門	学校名	学年	作品の概要																																																		
商工会頭賞	第一中	1年(1人)	職場体験レポート																																																		
教育長賞	有浦小	6年(32人)	大館新駅舎応援資料																																																		
部門	学校数	児童生徒数																																																			
小・低学年	1校	4人																																																			
小・高学年	11校	157人																																																			
中学校	5校	49人																																																			
部門	学校数	児童生徒数																																																			
小・低学年	4校	41人																																																			
小・高学年	5校	53人																																																			
中学校	5校	21人																																																			

令和6年1月26日

担当課（学校教育課）

報告事項	報告内容
<p>(2) 未来おおだてサミット事業について (交流推進課事業)</p>	<p>1月10日から12日の日程で「未来おおだてサミット事業」に参加した市内の中学生8人が、国内最先端の技術を有する施設を巡り、専門的な知識と先進的な取り組みをしている現場を直に見る貴重な経験をしました。</p> <p>昨年度も訪問したANA機体整備場、三菱重工ロケット・ロケットエンジン組み立て工場に加え、新たにGMOインターネットグループ、渋谷フォントの計4企業を見学しました。生徒たちは、積極的に質問したり反応したりして、充実した時間を過ごすことができました。</p> <p>特にGMOインターネットグループでは、渋谷駅の目の前にあるオフィスの景観、企業環境、セキュリティ等に驚きや感動を素直に表現し、企業側の担当者の「時間をオーバーしてもぜひ紹介したい」という思いを引き出していました。</p> <p>【参加者】 教育監、中学2年生8名、引率教諭2名、交流推進課職員 計13名</p>



羽田空港ANA機体整備場



GMOインターネットグループ



渋谷八チ公前



シブヤフォント

令和6年1月26日

担当課（学校教育課）

報告事項	報告内容
(3) 子どもサミット代表会議について	<p>【日時】 令和5年12月27日 13時30分～16時30分</p> <p>【開催場所】 大館市役所 議場</p> <p>【参加者】 サミット代表委員、サミット推進委員（校長会・教頭会の各担当校長・教頭、当番校教員）、市長ほか</p> <p>【内容】 会議は市長あいさつ、サミット運営委員長あいさつから始まり、今年度の各校の取り組みの紹介や意見交流をグループと全体で実施しました。席上でペットボトルキャップ回収運動に対して感謝状が授与されました。</p> <p>最後に、来年度の活動が提案され、食品ロスの削減とメディアコントロールに関わる活動を実施していくことが承認されました。</p> <p>今回は元サミット運営委員長の大沢さん(大学生)の傍聴・講評もあり、教育長からのあいさつで締めくくられました。</p>



令和6年1月26日

担当課（学校教育課）

報告事項	報告内容
(4)南種子町児童交流事業について	<p>ふるさとに根差し、自立の気概をもった人材を育成することを目的とし、1月9日から12日の日程で、宇宙開発という共通点をもつ友好都市・鹿児島県南種子町へ児童を派遣し、交流してきました。</p> <p>子どもたちは、宇宙科学技術館や鉄砲館等の施設に大喜びでした。帰りは飛行機の遅延で大幅に遅れましたが、温かいおもてなしを受けた子どもたちは疲れも見せず、笑顔で帰館しました。</p> <p>(1)参加者 小学5、6年生15名、引率教員3名、学校教育課職員1名 計19名</p> <p>(2)訪問先</p> <ul style="list-style-type: none">・屋久島：千尋の滝、志戸子ガジュマル園、環境文化村センター、ふるさと市場、白谷雲水峡・南種子町：たねがしま赤米館、花峰小学校児童交流、門倉岬、種子島宇宙センター（施設見学、宇宙科学技術館見学）観光物産館、南種子町役場、種子島鉄砲館 <p>*当初予定したロケット打ち上げは、延期されたため見ることが出来ず、代わりに宇宙科学技術館等を見学出来ました。</p>
 	 

令和6年1月26日

担当課（学校教育課・教育研究所）

報告事項	報告内容
<p>(5)第35回大館市教職員研究実践発表会について</p>	<p>1月9日、中央公民館及びほくしか鹿鳴ホールにおいて「大館市教職員研究実践発表会」を開催し、418名の教職員、教育関係者が参加しました。</p> <p>各会場に分かれての実践発表会では、就学前施設2施設、小学校5校、中学校4校、臨床心理士、スポーツ振興課、教育研究所から14の発表がありました</p> <p>発表の中には、小・中連携、就学前・小連携等、同じ学区の教員が協働し、学びのつながりを大切にして子どもたちを育てるという実践もありました。</p> <p>【発表内容】</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 学習指導（国語・体育、学び方）(2) 生徒指導（居場所づくり、相談活動）(3) ICT（ICTの活用、メディアコントロールAIとの共生）(4) ふるさとキャリア教育の実践(5) 特別支援教育(6) 就学前教育(7) 幼保小架け橋プログラム(8) 共生社会（ポッチャ） <p>14の発表の動画はDVDに、発表資料のデータは校務支援システムの書庫に入庫し、各校の教職員がいつでも活用できるように準備中。</p> <p>全体会では、秋田放送アナウンサー 田村 修氏から、「コミュニケーション」をテーマに、「相手の思いを引き出す」ためにアナウンサーとして実践されていることをご講演いただきました。このことは、おおだて型授業＝共感的・協働的な学び合い（響学）につながる分かりやすいお話でした。</p>
	

令和6年1月26日

担当課（生涯学習課）

報告事項	報告内容
(6)障がい者の生涯学習事業について	<p>学校卒業後における障がい者の生涯学習の機会の拡大促進と地域連携による持続可能な学びの支援に関する実践研究を目的として実施した全ての事業が終了しましたので、報告します。</p> <p>生涯学習講座 ピザ作り講座 8月20日(土)10時~12時30分 中央公民館調理室 ピザ作り後、カラオケ、フライングディスクに分かれて活動 チーズケーキ作り講座 9月3日(日)10時~12時 中央公民館調理室 チーズケーキ作り後、カラオケ、バドミントンに分かれて活動 比内支援学校青年学級 11月12日(日)10時~12時 中央公民館研修室 第1部 木育ワークショップ 第2部 カラオケ、バスケットボール(スローイン)に分かれて活動 そば打ち講座 12月17日(日)10時~12時 比内公民館 そば打ちの後、参加者で試食 なんでも発表会(大館市文教事業団との共催) 1月21日(日)10時~12時 ほくしか鹿鳴ホール 同時開催:とっと工房アート展(中央公民館) 支援する取り組み 障がい者サポーター養成講座(秋田県、大館市福祉課、大館市障害者自立差別解消支援協議会との共催) 11月21日(火)13時30分~15時30分 中央公民館</p>

講座の様子

・ピザ作り講座



・チーズケーキ作り講座



・木育ワークショップ



・そば打ち体験



・なんでも発表会



生涯学習講座の参加実績

No.	開催日	講座名	講師	参加者	うち障がい者
1	8月20日	ピザ作り講座	2	10	4
2	9月3日	チーズケーキ作り講座	2	11	5
3	11月12日	比内支援学校青年学級	4	39	19
4	12月17日	そば打ち講座	3	12	5
5	1月21日	なんでも発表会		121	29
		計	11	193	62

障害者サポーター養成講座

No.	開催日	講座名	講師	参加者	講座情報提供同意者数
1	11月21日	サポーター養成講座	2	80	26
		計	2	80	26

令和6年1月26日

担当課（生涯学習課）

報告事項	報告内容
<p>(7)大館市伝統文化親子教室事業(地域展開型)について</p>	<p>今年度の「大館市伝統文化親子教室事業(地域展開型)」は、7月29日の「着付け及び生け花体験講座」を皮切りに1月8日まで、5つの講座を開催し、延べ154人の親子が「和」の雰囲気を楽しみながら体験していました。</p> <p>「秋田犬の歴史及び特性体験講座」では、渋谷区の子もたちも一緒に参加し、秋田犬について学び理解を深めるとともに秋田犬絵画展につながる講座となり、市内や渋谷区からも多数の応募がありました。</p> <p>通常の生活ではなかなか体験することが出来ない、様々な伝統文化に触れることができる「直接体験」の機会を子どもたちに提供し、子どもたちの創造力、探求心、表現力を磨き、豊かな人間性を育む事業となりました。</p> <p>○開催状況</p> <p>着付け及び生け花体験講座 7月29日(土)10時～12時 ほくしか鹿鳴ホール</p> <p>秋田犬の歴史及び特性体験講座 8月12日(土)9時～11時 タクミアリーナ</p> <p>囲碁体験講座 11月25日(土)10時～12時 桜櫓館</p> <p>和菓子づくり及び茶道体験講座 12月9日(土)、10日(日)の10時～12時 桜櫓館</p> <p>アメづくり体験講座、 12月16日(土)、1月8日(月)の10時～12時 中央公民館</p>

< 講座の様子 >



・着付け及び生け花体験講座



・着付け及び生け花体験講座



・秋田犬の歴史及び特性講座



・秋田犬の歴史及び特性講座



・囲碁体験講座



・囲碁体験講座



・和菓子づくり及び茶道体験講座



・和菓子づくり及び茶道体験講座



・アメづくり体験講座

講座の参加状況実績

No.	開催日	講座名	講師	小学生	中学生	親	計
1	7月29日	着付け及び生け花体験講座	4	8	3	6	21
2	8月12日	秋田犬の歴史及び特性体験講座	4	31	5	6	46
3	11月25日	囲碁体験講座	5	9	0	2	16
4	12月9日	和菓子づくり及び茶道体験講座	3	7	2	6	18
5	12月10日	和菓子づくり及び茶道体験講座	3	6	2	6	17
6	12月16日	アメづくり体験講座	2	10	0	10	22
7	1月8日	アメづくり体験講座	2	7	0	5	14
計			23	78	12	41	154

令和6年1月26日

担当課（中央公民館）

報告事項	報告内容																				
(8) 共生センターとと工房アート展について	<p>去る1月16日から21日までの6日間、中央公民館展示室において共生センターとと工房アート展を開催しました。</p> <p>これは、障がい者の生涯学習事業の一環として行ったもので、8月から11月にかけては比内公民館ほか5施設で開催し、今回その集大成として約100点の作品を展示したものです。</p> <p>ひとりひとりが毎日こつこつと作り上げた作品には、作者のアートへの強い思いが込められていて、特にシールアート6点は、見る人に驚きと感動を与えてくれました。</p> <p>最終日となった21日は、ほくしか鹿鳴ホールで開催した「なんでも発表会」に来場した方々にも展示会場に足を運んでもらい、作品をじっくりと鑑賞していただきました。</p> <p>【とと工房アート展実績報告】</p> <table><tr><td>1. 作品展示数</td><td>シールアート</td><td>6点</td><td></td></tr><tr><td></td><td>綿棒アート</td><td>23点</td><td></td></tr><tr><td></td><td>イラスト</td><td>58点</td><td></td></tr><tr><td></td><td>その他</td><td>12点</td><td>合計99点</td></tr><tr><td>2. 来館者数</td><td>延べ</td><td>250名</td><td></td></tr></table>	1. 作品展示数	シールアート	6点			綿棒アート	23点			イラスト	58点			その他	12点	合計99点	2. 来館者数	延べ	250名	
1. 作品展示数	シールアート	6点																			
	綿棒アート	23点																			
	イラスト	58点																			
	その他	12点	合計99点																		
2. 来館者数	延べ	250名																			



議 事 の 経 過	
	開会 午後3時30分
教育長	<p>ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と山田委員にお願いします。</p> <p>会議録について、いかがだったでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項をお願いします。</p>
各課長	<p>(「(1)令和5年度ふるさとキャリア教育作品コンクール審査結果について」 「(2)「未来おおだてサミット事業について(交流推進課事業)」 「(3)子どもサミット代表会議について」 「(4)南種子町児童交流事業について」 「(5)第35回大館市教職員研究実践発表会について」 「(6)「障がい者の生涯学習事業について」 「(7)大館市伝統文化親子教室事業(地域展開型)について」 「(8)共生センターとっと工房アート展について」を資料により報告)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>子どもサミット代表会議についてです。私も参加させていただきましたが、今回は元運営委員長においでいただいて、どんな話をするのかなと思ったら、私の想像を超えるような素晴らしいお話をさせていただいて、私の娘もその場にいたのですが、すごく示唆に富む内容で、今後どういうふうにその彼の話を生かしていこうかなというのを周りにいた子たちといろいろ話しているのが印象的でした。</p> <p>来年度の活動として食品ロスの削減とメディアコントロールに関わる活動ということなのですが、特にこのメディアコントロールに関わる活動は、今養護教諭の先生たちが中心になって非常にご難儀なさっていることだと思うのですが、これを子どもたちの側からもこうやって議論の場に上げるテーマというのは非常に素晴らしいことで、彼らがどのように考えて結果を出してくるのかなというのは非常に楽しみだなと思いました。</p> <p>また参加の機会をいただければと思います。</p> <p>それと、南種子町児童交流事業についてです。私の息子が参加させていただいて大変お世話になりました、ありがとうございます。帰りのフライトコネク트가うまくいかなかったようで、帰りが午後9時半ぐらいになり、その遅延に関しても学校教育課長補佐はじめ皆さまから大変きめ細かいサポートをいただいて、子どもたちもそれは疲れていたでしようが、手厚くツアーコンダクターにも大変お世話になったと息子も感謝しておりました。</p>

委員	<p>私の息子の話をすると、息子はデジカメの充電器を忘れていきまして、どうしていたかなと思っていたのですが、もちろん節約はしていたのですがやはり途中でバッテリーが切れて駄目だったそうなのですが、すごく記憶に残るのですね。この感想を書いているときに一緒に書いていたのですが、デジカメで撮るよりも撮らなくてよかったという言い方をされていて、デジカメで撮らない分自分の目で見たことがたくさんあったと言っていました。</p> <p>あともう1つお話しすると、だいぶ夜更かししたようで、帰ってきてからちょっと体調を崩していたのですが、本当に楽しい仲間にも恵まれて、何がよかったと聞いたら、誰々くんと友達になった、あちらの子たちともすごく仲良くなってきて、今度3月にこちらに来るのがすごく楽しみだという話をしていました。</p> <p>うちの上の子たちも参加させてもらったのですが、本当にそこでつながっていた子たちが高校に行って同じクラスになって仲良しになったとかですとつながっていくので、大変ありがたいなと思いました。</p> <p>あとは、本当に同時期に行われた未来おおだてサミット事業について、教育監からお話しいただいた、特にGMOの方々からお褒めの言葉をいただいたというのは本当にありがたいことですし、自分たちの時間を子どもたちのそのディスカッションの場にいただけるということは、そういった子どもたちにとってすごい刺激だったと思います。</p> <p>今後もこの事業が続いていってくればなと思いました。</p> <p>私からは、障がい者の生涯学習事業について、感想を述べさせていただきたいと思います。</p> <p>この障がい者の生涯学習事業は、数年前からいろいろ準備をしてようやく形になって開催されていると思います。私もその皆さんが障害がある、ないということではなくて、これがまた徐々にこのフラットになっていって、健全の方々と障害のある方々の作品の発表なりいろいろな思いをこう伝えるというのがフラットな形になっていくのではないかなと思っています。</p> <p>あと、とっと工房アート展についてですが、上川沿公民館でも拝見しましたし、いろいろなところで拝見しました。これは、アートへのつもの思いというよりも自分の思いが自然にアートになっていったと私は思っています。自由なイメージが、その美術教育学校や大学で学ぶという方々もたくさんありますが、またそれとは違う生の芸術というか皆さんもご存知の通り「アウトサイダーアート」、そういうものはもう海外では30～40年前からは非常に重点的に取り上げられていることなのです。</p> <p>日本でもここ何年前から、「アールブリュット」ということで、1つの障害者の美術教育を受けない方々、本当にもう規模が芸術というかそういう方々の自由な心から湧き出るものを本当に集中的に作成していくという、私たちにはできないことをしっかりと心の中からやってくれているというので、私は拝見するといつも感動するのです。この感動は、美術教育を受けたというものではない、本当の心の中から溢れでる、本物の表現のものが心の中に入ってくるのだと思いますね。</p>
----	--

	<p>このように作品展を開いてくださった関係者の方々に、本当にありがたいとお礼を申し上げたいと思っております。</p> <p>これは、こういう機会がなければ、子どもたちあるいは大人の方々の作品を見ることがなかなかできませんので、大いに広報してもらって、いろいろなアート、障害あるなしではなくて1つの独立した個々のアートとして、みなさんに提示して感動を与えてほしいと本当にそのように願いながら拝見しました。</p> <p>こんな素晴らしい展覧会、そして鹿鳴ホールでやられたことなどもしっかりと今後もつないでいて、健常者の方と何も境のないフラットな状態の方向にまで持って行っていきたいと、またそういう風にしていただきたいなと強く強く思いました。</p> <p>本当に関係者の方にお礼申し上げます。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>たまたまですが、未来おおだてサミット事業の中で、障害者の方たちの社会参加の促進に貢献することを目的としている「シブヤフォント」という会社を訪問しているので、その説明をお願いします。</p>
教育監	<p>「シブヤフォント」の考え方は、障害者の作り出したものと学生をコラボさせて、いわゆる再構成したものをデザインとして価値化していくという取り組みになっていますので、単体で見ると何げない絵だったりとかそういったものを、例えばその同じものを繰り返したりとか、向きを変えて並べたりとか、そういうことをすることによってデザインの価値が上がっていくということを学生自身も体験していくという、2つのポジションの人たちが力を合わせて1つの価値のある作品にしてそれを商品化していくという、そういう取り組みでしたね。</p> <p>確かに言われてみると、心揺さぶるというか、刺激的なTシャツだったりとか刺激的な小物になっているなという感じは確かにしました。</p>
委員	<p>本当にあれ、これというのではなくて、それが分納されてまた新しいものができてという、ちょっとまた新鮮な今までにないような心揺さぶられるような作品ができていくと思います。楽しみたいと思います。</p>
教育長	<p>これを聞いていたら、もう何年前になるでしょう、山田委員が作ってくださった城南小学校の「まめきちくん」、あれが原点だったのですよね。</p>
委員	<p>未来おおだてサミット事業、南種子町児童交流事業ともに、いわゆる人材育成にお金をかけてくださって本当に大事なことだなと思いますし、ありがたいなと思っております。この先もいろいろ大変だと思いますが、ぜひ何とか進めていただければなと思います。</p> <p>未来おおだてサミット事業のお話を聞きましたが、大変興味深い施設がたくさんあったので、もし中学校で東京方面をまた修学旅行先として考えているのであれば、生徒たちの研修先の候補としてもとてもいいと思うので、ぜひ</p>

委員

ひその辺の情報提供をお願いできればなと思ったところです。

それから教職員研究実践発表会についてですが、本当に冬休み明けということで運営の方本当にお疲れさまでした。今回の公演、私も後ろの方で聞かせていただいたのですが、他業種の方のお話ということで、教職員にとっては新たな気付きにつながるものではなかったかなと思っています。この発表会はS先生の発表のところに参加させていただいたのですが、とても参加者が多くて、中身は確か不登校児童生徒の相談ということで、まず各校のニーズもあるのだろうなと思ったのですが、多分、S先生に5年ぶりにお会いしたいという先生方も多かったのではないかなと思っています。

S先生のお話の中で印象に残ったのが、いわゆる児童生徒や家庭の抱えている問題に対応する機関はいろいろな地域でそれぞれあるのだけれど、市全体で様々な機関が協力しながら一定の方向を向いてやっているのが大館だと、そこでやっぱり働きたいということで戻ってきたという話で、本当に嬉しく思いました。一旦外に出た方のお話というのは、本当に評価しても良いことなのかなと思って、自信を持ってこの後も進めていっていいのかなと思ったところです。今後もまたS先生にいろいろご活躍願いたいなと改めて思ったところです。

まず本当に皆さんに感謝申し上げたいなと思います。

この各種事業、本当に事故なくスムーズに進行されたことにまず感謝したいなと思うことと、この8つの事業を見たときにちょっと感じることもありまして、バランスがいいと私は思います。

例えばメディアコントロール、これからそういうふうなことが議題になる予定のことなのですが、これってすごく自分たちのことを自分たちで決めようということですね、ある意味。

これって民主主義の基本なのだと思います。そのような学習を自分たちからもやっていこうとするこの自立の基盤というのでしょうか、そういう取り組みを子ども達がもう持ち始めているというように思います。非常に感謝したいと思います。これはひとえにやはり先生方のご指導であったり教育委員会の皆様のご助力であったりすると思うのです。

しかもそれが、大館市教育委員会の場合は概念が体験として身につくような事業構成になっていると思うのです。そういう意味でバランスが良いと私は先ほどお話しさせていただいた次第です。

概念や体験を通して1つ確固としたものになっていく。それが最後どういう形で現れてくるかという、Aさんの発表だと思うのです。

大館の子どもたちは、大人に刺激を与える子どもたちが何と多いことか。Aさんの話を聞いたあと、私は、懇親会のご挨拶は非常にプレッシャーでした。決して原稿を見てはいけないというプレッシャーを感じまして、そういう意味では、逆に大人に刺激を与える子どもがどんどん増えているなという感想を持ちます。

ぜひ、そういう子どもたちがこれからも元気よく健やかに育っていくことをお願いしながら、皆さんへの感謝の言葉とさせていただきます。

<p>教育長</p>	<p>本当にどうもありがとうございました。</p> <p>メディアコントロールについては、今まで学校もやってきましたし、それから、もう小学校段階では遅いだろうということで、幼稚園、保育所、こども園の段階からそういう働きかけをしておりますし、できるだろうという手は、あらゆる手を打ってきたのですが、最後はやはりここですよね。子どもたち自身が周りから半強制的にというようなことではなくて、自分たちがいうところ、それがまさに「自立」の段階に入ったなということをしごく私も感じています。</p> <p>それからメディアコントロールに関しては、北鹿新聞社さんが素晴らしい特集を上・中・下と出してくれまして、あれでまた市民への啓発も進んだと思います。</p> <p>おそらく、一気にということはなかなかないのですが、必ず成果は出てくるなと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>今メディアコントロールの話が出たので、実践発表会のところでも有浦小学校と保育園、就学前の施設との関連した取り組み発表を聞かせてもらったのですが、問題が本当に低年齢化していますよね。</p> <p>小学生ぐらいになると自分で考えてということはできるのですがけれども、やはり就学前の子どもたちはそこまでいきませんよね。でも、今その辺が大きな課題になっているという発表があって、本当大変だなと思っています。</p> <p>ただ実際は、働くお母さんたちの実態を考えるとやはり大変なんですよ。絵本の方がいいよと言われても、働いて帰ってきて6時半7時だとなったときに、子どもたちがやっぱりそれを見てしまうという実態もあると思うのです。さきほどの佐々木先生のお話のことと関連しても、やはり教育委員会だけではなくて、そういう働くお母さんたちをサポートするような子育て支援との関係も考えていかないとこの問題がもっと根深くなっていくのではないかなと改めて思ったところです。</p>
<p>教育長</p>	<p>そうですね。そこを放置していると、ますますその較差が大きくなっていくような気がします。おっしゃる通りだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>何校かの学校保健委員会に参加していて、最近、幼・保・小との連携で小学校の学校保健委員会に保育所の先生が来てくれて、議題として時間を30分位とると、ほとんどがメディアコントロールの話で、保育所・幼稚園の先生たちは、本当に「大人の教育を何とかしてほしい」、そこだけ、「スマホ育児」とよく言ったもので、それが本当に深刻なので何とかしてほしいと、今まで3校行ったのですが3校とも同じ話題が上がってくるので、何とかしなければいけない、委員がおっしゃる通りに、大人に向けたサポート、保護者に向けたサポートが非常に大切になってくるのかなと感じました。</p> <p>そういう意味では、大人に対する教育の機会、もう教育委員会と市長事務局の壁を取って、全体で考えていかなければならないのかなと感じました。</p>

教育長	<p>そうですね。まさにそういった課題が見えてきた気がします。 本当にありがとうございました。</p> <p>Aさんのも素晴らしいですが、「デジカメではなくて心の目に焼き付ける」という言葉が非常に心に残りました。素晴らしい子たちが育っていてうれしいです。</p> <p>報告については、よろしいでしょうか。では、議事に入ります。 10件のうち(1)から(9)まで説明願います。</p>
各課長	<p>(「(1)議案第1号専決処分の承認について」、「(2)協議第1号大館市放課後児童仲良しクラブの運営規程の制定について」、「(3)協議第2号大館市民文化会館に関する条例の一部改正について」、「(4)協議第3号大館市松下村塾に関する条例の一部改正について」、「(5)協議第4号大館市放課後児童クラブに関する条例の一部改正について」、「(6)協議第5号大館市北地区コミュニティセンターに関する条例の一部改正について」、「(7)協議第6号大館市公民館使用条例の一部改正について」、「(8)協議第7号大館市立鳥潟会館に関する条例の一部改正について」、「(9)協議第8号大館市民舞伝習館に関する条例の一部改正について」を資料により説明)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>放課後児童仲良しクラブの運営規程の制定についてです。</p> <p>仲良しクラブの運営規程に関して今回指摘があったことで規程を作ったということなのですが、「仲良し」「キラキラ」、それぞれ監督する省庁が違っていてという話を聞いたことがあるのですが、これ、いろいろな学校にあるそれが全部この規程になると考えてよろしいのでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>「放課後健全育成事業」は、令和5年4月からこども家庭庁所管となっております。</p> <p>この健全育成事業の経費の3分の1が国から、3分の1が県から補助金として入ってくるのですが、放課後に小学校の余剰教室等を活用して開設している「子ども教室」は、県が補助金事業を請け負っていますので、経費の3分の2が県から入ってくるというものになっておりますが、事業としては、同じ形式で行っております。</p>
委員	<p>そのすべてに、これが適応されるということでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>そうです。「定める」こととされておりますが、これまで「定まっていなかった」ということがありました。市の条例自体も、これまで国の基準を参酌して作っており、条例の中で「運営規程を定めておかなければならない」のですが、大館市の場合は、お示ししている設備及び運営に関する基準の条例のほか、「大館市児童クラブに関する条例」もあり、それらに重複する部分、</p>

	<p>例えば、開設時間などがあります。これまで運営規程がなかった理由はよく分からないというのが正直なところです。</p>
委員	<p>僕の理解でいうと、県から言われたから作ったということになります。</p>
生涯学習課長	<p>今までなかったことに指摘を受けたので、今回作り直した、ということです。</p>
委員	<p>分かりました。</p> <p>ほかに、大変細かくて恐縮なのですが、冷暖房の使用料について段階的引き上げと1回で引き上げているところがありまして、段階的に引き上げるところは市民の皆さんの負担を段階的に引き上げないと負担が大きすぎる、けれども、例えば松下村塾は一気に引き上げるのはそれほどでもない、ということで理解してよろしいでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>はい、そのように考えております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>あと、大変お恥ずかしいのですが、この大館市民舞伝習館を存じ上げなくて、簡単でいいのでどんな施設なのかをお知らせください</p>
歴史文化課長	<p>比内町独鈷にありまして、元々はここに独鈷大日神社という大館の歴史の中で今の大館城の1600年よりももっと古く、浅利氏が山梨県からこちらに来て治めたという歴史のある地域ですが、その歴史を伝える伝習施設として旧比内町時代に作った施設でありまして、建物2階構造なのですが、1階部分に浅利氏が弾いた琵琶とか絵とか書とかいろいろなものを展示しておりまして、2階が大広間になっておりまして、「独鈷囃子」という市の指定文化財があるのですが、その独鈷囃子伝承のため練習する広場になっているという作りになっております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。不勉強で失礼いたしました。</p>
教育長	<p>独鈷大日神社は、独鈷の集落からちょっと上っていかねばならないのですが車で行けまして、行ってみるとやはり歴史を感じますね。</p> <p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>なければ、(1)から(9)まで承認という形でよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、(10)の説明をお願いします。</p>
各課長	<p>(「(10)協議第9号令和5年度3月補正歳出予算要求の概要について」を、資料により説明)</p>

教育長	ご質問等ございませんか。
委員	電気・水道使用量増加とあるのですが、電気の使用量増加というのは分かるのですが、水道使用量増加はどういう意味で保守の増加というようなことが出てきているのか、お分かりになる範囲で結構ですので教えていただければと思います。
学校教育課長	当初予算で積算したときの使用量見込みより今年度実績がちょっと多かったということで、夏場のプール使用量が増加したのかなと分析しております。
委員	いわゆる猛暑の関係で、部活とかいろいろなことがあって使用量が多かったということなのではないでしょうか。
学校教育課長	電気と水道の部分につきましては、当初予算の要求がその通りにいかず、ちょっと削られまして、やはり足りなかったということでの不足分の増加です。
教育次長	これは、当初予算の段階で100要求したものが査定で90とか85まで下げられて予算がそれしかつかなかったという状況で、使っていった中で不足した場合は流用もしくは追加補正という形で対応しなさいという当初からの計画であったものが今回の事例です。
委員	大変よく分かりました。
委員	使用量が増加したわけではないということでしょうか。
教育次長	当初はそれで収まるだろうとあってあったものが当初の見込みを上回った形で増加したというふうにも見られて、その不足分を追加したということです。
委員	先ほどの理由も理由でないことはなくて、それも理由の1つですよ。
教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。 なければ、承認という形でよろしいでしょうか。 はい、ありがとうございます。 それでは、「その他」に入ります。
歴史文化課長	(「おひなさま展とおおだて博物館講座」を口頭報告)
教育長	ご質問よろしいですか。

委員	鳳凰山に風穴があったのですか。
歴史文化課長	<p>あるのです。当課企画博物係長と秋田北部風穴研究会会員の方が発見しました。</p> <p>係長は「全国風穴ネットワーク」会員でもありまして、市内のあちこちに風穴がないかというのを探しに歩いています。</p>
委員	ありがとうございました。
教育長	私も初めて知りました。二ツ山の温風穴とかも発見されていて。
委員	<p>大館学び大学の講座でこの間公民館に行ってきました。「ウェルビーイング」の講座です。</p> <p>よく分からないことをいろいろ説明していただいて、私もなるほどなと思って帰ってきたところですが、また、今月の31日にあるのですよね。</p> <p>それに電話で申し込みましたがもう満杯ということでしたので、それだけたくさんの方が申し込みになっていらっしゃっていて、大変うれしく思いました。</p>
生涯学習課長	キャンセル待ちであればということでお受けしたかと思うのですが、開催場所が「大館駅 駅なか交流センター」の会議室であまり広くない空間でありまして、グループで申し込まれる方がいらっしゃいまして、定員となりお受けすることができませんでした。
委員	キャンセルがあったらお声掛けください。それで大丈夫ですので。
生涯学習課長	新聞の力は大きいなと思ひまして、今朝の新聞に「若干名」という風に載せていただいたら電話で反応がありました。おかげさまをもちまして、ありがとうございます。
委員	<p>お礼です。</p> <p>3月の末にあるニュージーランドの海外研修でうちの娘も参加させていただいて、参観に行ってきたのですが、本当に初めて集まった集団ではないような1つのクラスの、クラスメイトと一緒に何かを作り上げるようなという雰囲気は既に出来上がっていてすごいなと思ひました。学校教育課長補佐、いろいろご苦勞をおかけしますが、何とかよろしくお願ひします。</p>
教育長	優秀な子たちが集まっているということもありますが、やはり大館の子どもたちのそのチーム力というのは極めて高いなということを感じますね。
委員	出てくる子たちなので、「私が私が」、「僕が僕が」みたいな子たちなのかなと思えばそうでもなくて、ちゃんと一瞬にしてチームワークができるこの素

教育総務課長	<p>晴らしさを私も見習いたいなと思いました。</p> <p>(「来月の開催日程」について)</p>
教育長	<p>委員の皆さまから何かございませんか。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。</p>
	<p style="text-align: right;">会議終了時刻 午後5時00分</p>